

平成27年10月27日
上場取引所 東 福

上場会社名 コカ・コーラウエスト株式会社
コード番号 2579 URL <http://www.ccwest.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 民雄
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 鶴池 正清 TEL 092-641-8585
四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	329,661	1.8	11,507	43.9	11,294	40.9	14,347	291.6
26年12月期第3四半期	323,815	△1.0	7,995	△39.9	8,015	△42.8	3,663	△76.9

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 14,532百万円 (160.4%) 26年12月期第3四半期 5,581百万円 (△68.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	131.45	—
26年12月期第3四半期	33.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	380,195	264,223	69.4
26年12月期	337,260	254,150	75.2

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 263,826百万円 26年12月期 253,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	20.00	—	21.00	41.00
27年12月期	—	20.00	—		
27年12月期（予想）				21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,600	6.2	12,500	13.6	12,100	14.1	14,200	216.8	130.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 四国コカ・コーラボトリング株式会社、除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、〔添付資料〕3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	111,125,714株	26年12月期	111,125,714株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	1,986,274株	26年12月期	1,984,123株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	109,140,468株	26年12月期3Q	109,142,731株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。なお、平成27年12月期の業績予想に関する事項につきましては、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

目 次

頁

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費持ち直しの動きに鈍さがみられるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続くなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、最盛期である夏場の不安定な天候の影響や清涼飲料各社間の激しい販売競争の継続などにより、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、清涼飲料事業におきましては、平成27年の経営方針を、『「会社をゼロから見直す」べく、すべての業務を基本に戻って抜本的に見直し、会社の実力に見合った費用・投資・要員体制とする』、『お客さま起点でエリア別、チャネル別にお得意さまに応じた市場実行を徹底し、売上高、営業利益、販売数量および市場シェアのすべてにおいて、数値目標の達成を目指す』とし、経営目標の達成を目指すとともに、将来に亘って成長を続け、収益力を高める基盤づくりを進めております。

健康食品業界および化粧品業界におきましては、消費者の健康志向が継続する中、大手企業をはじめとした他業種からの新規参入の影響や低価格商品の増加により、両市場ともに厳しい状況が続いております。

このような状況の中、ヘルスケア・スキンケア事業におきましては、平成27年の重点戦略を、「通販プラットフォームの強化（商品カテゴリー別に市場環境を踏まえたマーケティング戦略）」、「新機能性表示制度に対応した商品戦略」とし、強みを最大限に活かした活動を行い、お客さまからの信頼を獲得し、継続的な成長を図るべく努めております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績の状況は、次のとおりであります。

<売上高>

清涼飲料事業においては、当社が平成27年5月18日付で、四国コカ・コーラボトリング株式会社の株式を全株取得し、平成27年6月30日をみなし取得日として同社を連結対象としたことに伴い、売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ68億1百万円増加し、3,052億6千3百万円（前年同期比2.3%増）となりました。ヘルスケア・スキンケア事業においては、主にヘルスケア商品の販売減少により、売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ9億5千5百万円減少し、243億9千7百万円（同比3.8%減）となりました。これにより、セグメント合計の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ58億4千6百万円増加し、3,296億6千1百万円（同比1.8%増）となりました。

<営業利益および経常利益>

清涼飲料事業においては、全社を挙げたコスト削減や上述した新規連結の影響等により、営業利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ36億6千5百万円増加し、93億6千9百万円（同比64.3%増）となりました。ヘルスケア・スキンケア事業においては、上述した売上高の減少等により、営業利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ1億5千4百万円減少し、21億3千8百万円（同比6.7%減）となりました。これにより、セグメント合計の営業利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ35億1千1百万円増加し、115億7百万円（同比43.9%増）となりました。また、主に営業利益の増加により、経常利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ32億7千9百万円増加し、112億9千4百万円（同比40.9%増）となりました。

<四半期純利益>

経常利益の増加に加え、四国コカ・コーラボトリング株式会社を連結対象としたことに伴い、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益83億7千5百万円を特別利益に計上したことなどにより、四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ106億8千3百万円増加し、143億4千7百万円（同比291.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ429億3千5百万円増加し、3,801億9千5百万円（前連結会計年度比12.7%増）となりました。これは主に、300億円の社債の発行および四国コカ・コーラボトリング株式会社を連結対象としたことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ328億6千2百万円増加し、1,159億7千1百万円（同比39.5%増）となりました。これは主に、上述した社債の発行の影響によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ100億7千3百万円増加し、2,642億2千3百万円（同比4.0%増）となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期通期の業績予想につきましては、平成27年7月29日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成27年5月18日付で当社が四国コカ・コーラボトリング株式会社の株式を全株取得したことに伴い、平成27年6月30日をみなし取得日として同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,996	47,871
受取手形及び売掛金	27,797	31,073
有価証券	100	21,000
商品及び製品	25,659	28,872
仕掛品	547	817
原材料及び貯蔵品	2,166	3,513
その他	18,098	18,664
貸倒引当金	△316	△397
流動資産合計	116,050	151,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,132	33,784
機械装置及び運搬具（純額）	23,252	22,097
販売機器（純額）	27,113	31,421
土地	59,155	63,260
建設仮勘定	11	27
その他（純額）	1,457	2,157
有形固定資産合計	144,124	152,749
無形固定資産		
のれん	39,539	37,551
その他	8,160	7,871
無形固定資産合計	47,699	45,423
投資その他の資産		
投資有価証券	19,162	20,841
退職給付に係る資産	—	45
その他	10,622	10,303
貸倒引当金	△398	△581
投資その他の資産合計	29,386	30,608
固定資産合計	221,210	228,780
資産合計	337,260	380,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,750	21,687
1年内返済予定の長期借入金	2,517	2,517
未払法人税等	2,024	1,316
未払金	20,649	19,137
販売促進引当金	260	317
その他	8,173	9,801
流動負債合計	51,375	54,778
固定負債		
社債	20,000	50,000
長期借入金	2,719	206
退職給付に係る負債	3,871	3,465
役員退職慰労引当金	149	158
その他	4,993	7,362
固定負債合計	31,734	61,193
負債合計	83,109	115,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,072
利益剰余金	131,355	141,228
自己株式	△4,580	△4,585
株主資本合計	251,079	260,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,389	4,160
繰延ヘッジ損益	317	△133
為替換算調整勘定	16	17
退職給付に係る調整累計額	△1,026	△1,164
その他の包括利益累計額合計	2,696	2,879
少数株主持分	374	396
純資産合計	254,150	264,223
負債純資産合計	337,260	380,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	323,815	329,661
売上原価	161,770	162,145
売上総利益	162,044	167,515
販売費及び一般管理費	154,048	156,008
営業利益	7,995	11,507
営業外収益		
受取利息	63	36
受取配当金	202	216
持分法による投資利益	69	41
その他	648	506
営業外収益合計	983	802
営業外費用		
支払利息	421	296
固定資産除却損	203	329
社債発行費	—	133
その他	339	256
営業外費用合計	964	1,015
経常利益	8,015	11,294
特別利益		
投資有価証券売却益	261	74
負ののれん発生益	—	8,375
特別利益合計	261	8,449
特別損失		
災害による損失	22	—
固定資産除却損	—	600
投資有価証券評価損	18	78
商品表記対応費用	190	—
構造改革費用	741	—
事業再構築費用	752	—
関係会社整理損失引当金繰入額	404	—
特別損失合計	2,129	679
税金等調整前四半期純利益	6,146	19,064
法人税、住民税及び事業税	1,691	2,408
法人税等調整額	767	2,306
法人税等合計	2,459	4,715
少数株主損益調整前四半期純利益	3,686	14,349
少数株主利益	23	2
四半期純利益	3,663	14,347

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,686	14,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	788	770
為替換算調整勘定	3	1
退職給付に係る調整額	1,014	△148
持分法適用会社に対する持分相当額	88	△440
その他の包括利益合計	1,894	183
四半期包括利益	5,581	14,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,557	14,530
少数株主に係る四半期包括利益	23	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	清涼飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	298,461	25,353	323,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	298,461	25,353	323,815
セグメント利益	5,703	2,292	7,995

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	清涼飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	305,263	24,397	329,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	305,263	24,397	329,661
セグメント利益	9,369	2,138	11,507

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

清涼飲料事業において、当社が平成27年5月18日付で、四国コカ・コーラボトリング株式会社の株式を全株取得し、平成27年6月30日をみなし取得日として同社を連結対象としたことに伴い、当第3四半期連結累計期間において、8,375百万円の負ののれん発生益を計上しております。

なお、負ののれん発生益の金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的な情報に基づき、暫定的に算定された金額であります。